

「思い」を表し…

「思い」を汲み取る

乙島っ子

令和5年度 NO. 8

令和5年 6月12日 倉敷市立乙島小学校

行事の随所に垣間見える「思い」

前号から「もの」→「こと」→「ひと」について述べてきていますが、先日の運動会を例に、「ひと」、即ち、「思い」は、「行事の随所に垣間見える」ということを説明していきたいと思ます。



「こと」：早朝からの準備

「ひと」：よい環境にしたい



「こと」：入場整理 →
「ひと」：気持ちよく観覧を



「もの」：バザーのお菓子

「ひと」：「追加の楽しみ」を



「こと」：
児童代表の言葉

エイエイオーの
アドリブも加え

「ひと」：心を一つにしたい



「こと」：応援団による応援 左:白組、右:赤組

「ひと」：自分たちのチームに
勝ってもらいたい

「ひと」：「対抗戦」の楽しみを



「思い」は、見ようとしないと見えません…

昨年度の「乙島っ子」に、「行事は、児童を褒めるためにある」(Web掲載中)を書きましたが、褒めるため、私たち教職員は、多様な視点から観察するよう心がけています。つまり、「思い」は、見ようとしないと見えないのです。



「こと」：
懸命の競技

「ひと」：勝ちたい→「対抗戦」の楽しみを



「こと」：腕を固定して
のアナウンス

「ひと」：何とか運動会に
参加したい、させたい



「こと」：懸命の競技

「ひと」：心を一つにしたい



「こと」：異なる形での参加

「ひと」：よい思い出にしたい、させたい



「こと」：懸命の演技

「ひと」：最高の姿を見たい、魅せたい



「こと」：衣装の整理

「ひと」：非認知能力を見せたい

※ ケーブルテレビで運動会の様子が放送されます。乙島小：6月13日（火）18:30～の3番組

※ カラー版を Web ページに掲載しています。ご覧ください。→http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter_3_2_2_5.html